

研究業績

太田隆之

(2019 年度～2023 年度)

【書籍】

- 太田隆之「観光と自治体財政」平岡和久他編『入門 地方財政—地域から考える自治と共同社会—』自治体研究社、261-271 頁、2023 年 3 月。

【論文（査読あり）】

- 太田隆之「『観光地のライフサイクル』が観光地の自治体にもたらす影響の検証—『温泉観光都市』静岡県伊東市の事例検証—」『公共研究』第 16 巻第 1 号、180-236 頁、2022 年 3 月。

【論文（解説論文・紀要等）】

- 諸富徹・稲垣憲治・太田隆之・白石智宙(2023)「地域プラットフォームとしての日本版シュタットベルケー圏域単位での持続可能な地域発展を担う主体とは—」『地方財政』62 巻 6 号、4-17 頁、2023 年 7 月。
- 太田隆之「電気事業および自治体新電力事業の社会価値と住民意識」地方公営企業連絡協議会『公営企業の経営戦略、法適用化、広域連携の取組、経営分析手法等に関する調査報告書』、76-155 頁、2023 年 3 月。
- 太田隆之「近年の公営電気事業をめぐる『売電価格問題』とそれに対する対応—岩手県・長野県の電気事業の事例検証—」『静岡大学経済研究』27 巻 4 号、29-50 頁、2023 年 2 月。
- 太田隆之「近年の公営電気事業をめぐる課題に関する研究」『静岡大学経済研究』27 巻 2 号、83-102 頁、2022 年 10 月。
- 太田隆之「近年の県営電気事業の現状と課題に関する調査研究」地方公営企業連絡協議会『公営企業の経営戦略、法適用化、広域連携の取組、経営分析手法等に関する調査報告書』、105-160 頁、2022 年 3 月。

【学会発表】

- 太田隆之「再生可能エネルギーと地域再生—公営電気事業に注目して」日本地方自治学会 2022 年度研究会、同志社大学、2022 年 11 月 5 日。
- 太田隆之「『観光地のライフサイクル』からみた観光地財政の変容と実情—静岡県伊豆地域の事例検証—」、日本地方財政学会第 30 回大会、京都府立大学、2022 年 6 月 5 日。

- 太田隆之「『観光地のライフサイクル』が観光地の自治体にもたらす影響の検証—静岡県伊東市・東伊豆町の事例検証—」、日本公共政策学会関西支部研究大会、神戸学院大学、2019年9月28日

【講演】

- 太田隆之「脱炭素化を図る上での公営電気事業の役割と機能の検証」京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座 第10回公開研究会『脱炭素先行地域によるまちづくり』、オンラインによる報告、2024年2月28日
- 太田隆之「『日本版シュタットベルケ』と公営電気事業」京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座 第8回公開研究会『日本版シュタットベルケの現在～エネルギー価格高騰下の地域新電力経営と地域インフラ運営における新たな官民協力の可能性～』、オンラインによる報告、2023年5月29日
- 太田隆之「近年の公営電気事業の現状と課題に関する調査研究報告」京都大学再生可能エネルギー経済学講座部門B研究会、オンラインによる報告、2021年5月31日
- 太田隆之「スノーリゾート地域の再生に向けた小水力発電の可能性 —長野県白馬村を事例に一」、京都大学再生可能エネルギー経済学講座・環境研究総合推進費プロジェクト共催「再エネ講座シンポジウム2020」、オンラインによる報告、2020年12月14日